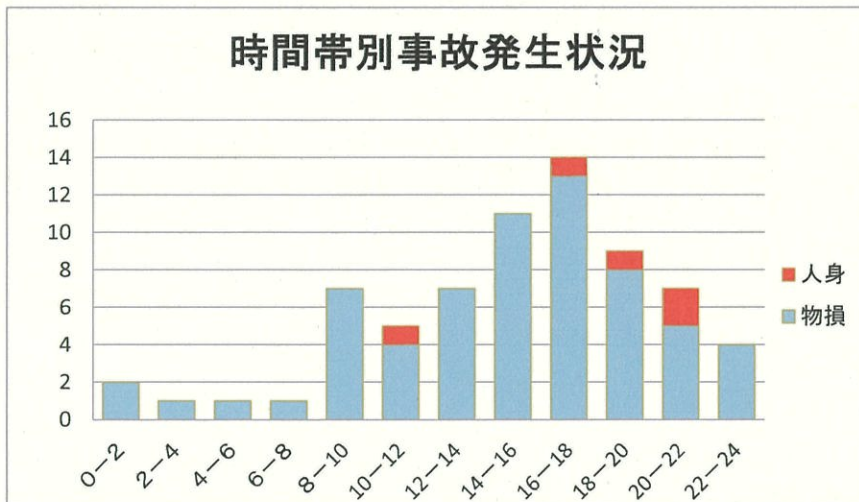


和大学生が当事者となる交通事故件数

7月単月		本年		昨年同期		増減率	
人身	物損	人身	物損	人身	物件	人身	物件
1	9	5	64	6	52	-16.7%	23.1%

和大学生が当事者となる交通事故の主な概要

事故態様(7月) 赤字が和大学生			
車×歩行者	道路を横断中に衝突され重傷	車×原付	右折車両に衝突された
車×原付	停車車両に衝突した	二輪車	自己転倒
二輪×車	停車車両に追突した	車×車	出会い頭
車×車	停車中に衝突された	車×原付×車	停車中にされた
車×車	駐車車両に接触した		



<和歌山北警察署より>

気温が高くなる注意力が散漫になり、交通事故に遭うことが多くなる傾向にあります。  
 着衣も薄くなり、原付等の二輪車で交通事故を起こすと重傷化するおそれがありますので、夏休み期間中も気を緩めることなく、運転しましょう。  
 また、道路を横断する際は、横断歩道を利用し、信号を厳守しましょう。